

(広報資料)

大学同時

平成 21 年 7 月 2 日

総合企画局

(担当 市民協働政策推進室)
電話 222-3103)

平成21年度「学まちコラボ事業」の認定について

京都市では、(財)大学コンソーシアム京都との協力の下、平成16年度から「大学地域連携モデル創造支援事業」を実施しています。今年度からは、愛称を「学まちコラボ事業」とし、チャレンジ部門を創設しています。

この「学まちコラボ事業」は、大学と地域が一体となり、『コラボ』する企画・事業で、まちづくりや地域の活性化に資するものを広く募集し、認定を行っています。

この度、応募があった23事業(スタンダード部門21件、チャレンジ部門2件)のうち、**10事業(スタンダード部門9件、チャレンジ部門1件)を支援対象として認定**し、認定式を執り行いますので、お知らせします。

記

1 認定式について

(1) 日 時 平成21年7月8日(水) 午後4時から5時まで

(2) 場 所 市役所 3階 第一応接室

(3) 出席者

(採択事業の申請者)

大学関係者、学生等(15名程度)

(選考委員会及び京都市側)

西 垣 泰 幸 龍谷大学副学長(選考委員会委員長)

門 川 大 作 京都市長

明 石 隆 夫 京都市企画監

荒 木 陽 子 京都市東山区長

(4) 次 第

○開会

○出席者の紹介

○講評(西垣委員長)

○認定事業の紹介及び認定証の授与

○市長挨拶

○歓談

○閉会

※閉会后、記念写真の撮影を行います。

2 認定事業

○スタンダード部門

	行政区	申請者名 (大学・団体名)	事業名	事業概要
1	北区	小野郷プロジェクト(佛教大学)	LET's小野GOA (小野郷へいこう!)	急速な過疎化に伴い、少子高齢化が進む北区小野郷地域において、他出家員調査による地域活性化の要素抽出作業を行い、住民により作成された小野郷マップを活用した他地域への情報発信や、小野郷地域まちづくり推進委員会の機能化を目標としたワークショップ、先進地視察による学習及び意識醸成などによる住民自治の推進及び基盤形成を図る。
2	上京区	でまち倶楽部(同志社大学大学院)	地域自慢冊誌『(仮称)出町を楽しむ本』	地域との接点を持ちにくく、地域とトラブルを抱えがちな学生に地域への関心を持ってもらうため、今までの活動で発掘した地域の魅力を整理するとともに、地域内外の関係団体と学生が連携して新たな地域の魅力を取材・調査する。それらを整理した「若者と地域をつなげる地域本」をコンセプトとした、学生の視点で捉えた地域の魅力、地域活動などの情報をまとめた冊子を地域に住む若者に発信し、地域の魅力を伝えるとともに、若者の地域参加へつなげる。
3	中京区	精華おばけプロジェクト(京都精華大学)	中京「おばけ」伝承調査と再創造プロジェクト	高度経済成長期以前まで、一般家庭の節分行事のひとつとして市民に楽しまれてきた、男女や年齢の枠を超えた扮装をすることにより、除災招福を願う「おばけ」文化の実態を、町衆文化が色濃く残り、かつ「おばけ」にまつわる体験を持つ人々が多い中京において調査し、再創造(復活)させる。
4	東山区	空き家全体をまちの風情にするアートプロジェクト(京都造形芸術大学)	空き家全体をまちの風情にするアートプロジェクト	空家の増加による地域コミュニティの崩壊など地域の不安や危険要因を除外するため、発想(アート)や住民の力で解決する可能性を探る。空き家全体をまちの風情にする全体ランドデザインを構築し、地域の安全、交流、教育などの場となるように、フィールドワーク、ワークショップ等により、空家展開案を提案し、地域住民と考える。調査結果、提案などは、成果物としてまとめるとともに、模型を制作し、東山区役所に展示するなど広く公開する。
5	下京区	龍谷大学門前町総合調査チーム	思い出作り140年 プラス計画	西本願寺門前町にある今年度閉校となる植柳小学校とその学区における140年の歴史を、地域住民等から提供のあった古写真や子供たちが自ら制作した西洞院和紙に描いた絵画や団扇による展覧会などを開催し、目に見える形にまとめる。また、写真や絵画などは、閉校後も将来にわたって「心の拠り所」となるよう、地元住民と検討のうえ、植柳学区に建設予定の博物館「龍谷ミュージアム」内に展示する。
6	右京区	京都嵯峨芸術大学竹造サークル	愛宕古道街道灯し	嵯峨野保勝会と京都嵯峨芸術大学がつくりあげてきた祭である「愛宕古道街道灯し」に使用する1,000基行灯の一部を、学生、地域住民や地域の団体等がワークショップ形式で制作し、ものづくりを通じた人とのつながりを生みだす。また、広報活動の一環として、学生がデザインしたTシャツを祭り当日や行灯制作に着用し、祭の盛り上げに貢献する。
7	右京区	立命館大学産業社会学部企画研究科「京北プロジェクト」	京北子どもプロジェクト	地産地消に基づいた食育の授業を通して、食の安全や伝統的な食文化の大切さを子どもたちに伝え、地域の自然及び文化資源を教材とするESD(持続可能な社会のための教育)の新たなあり方を追求することを目的として、納豆発祥の地という京北地区において、納豆作り、納豆授業、ワークショップなどを実施し、地域の伝統的な食文化の継承・発展などを旨とする。
8	西京区	大枝アートプロジェクト実行委員会(京都市立芸術大学)	大枝05〜ニシヤマアートブックプロジェクト〜	京都第2環状道路の建設により、風景や地域コミュニティが大きく変化している大枝・大原野の西山地域における地域の魅力を再発見するため、「みどりの停留所」をキーワードとする今までの活動を踏まえ、地域の魅力を再発見し、内外に伝えるガイドブック「ニシヤマアートブック」を作る。その制作過程も地域内外の新しい関係性を築く活動として位置づけるとともに、完成したガイドブックについては、地域の観光価値を高めるだけでなく、地域内外への新たなコミュニケーションツールとして機能させる。
9	伏見区	龍谷大学・伏見砂川・公園探検チーム	伏見砂川・公園を中心とした地域との交流事業	公園の安全情報を記した地図の改定版を作成するとともに、公園で毎年行われているものの、形骸化している夏祭や地藏盆に、学生が企画・運営側として参加し、学生と地域住民との交流を図り、公園で開催される地域行事の活性化を図る。

○チャレンジ部門

	行政区	申請者名 (大学・団体名)	事業名	事業概要
1	山科区	京都橘大学 救急救命 研究会－TURF－	地域・消防・大学三 位一体を目指して	安心安全な地域をつくることを目的として、京都の学生による地域住民を対象とした救急指導を実施する。地域に入るにあたっては、消防の力を借りることにより、地域だけでなく消防との連携も図る。また、心肺蘇生等の講習を短時間で行うなど、受講者のニーズに合わせた講習を行い、学生が大学で習得した知識・技術を効果的に地域へフィードバックする。